学校便り

やさか小

浜田市立弥栄小学校
浜田市弥栄町長安本郷 325-１

～描き　やりきり　創り出す～　令和８年１１月号（文責　毛利）

「描き　やりきり　創り出す」⑦
～全校朝会の話～



１０月の全校朝会では，はじめに表彰式をしました。審査会やコンクールに出品すると，当然賞はつきますが，子どもたちが自分たちの作品を最後まで作り上げ，達成感を味わい，やりきったと思えることに教育的な意味があると思います。その中で，入賞した子どもたちには，この経験が強い励みとなって，よりいっそうの探究心や学びへの意欲が高められていくかもしれませんね。

このたびは，浜田市科学作品展の表彰も行いました。科学作品づくりに挑戦した子どもたちは，自分の研究を通して，大いに科学への探究心を磨いたと思います。また，あれだけ多くの情報を一枚の模造紙にまとめあげた経験は，情報収集処理の力や考える力，そのおもしろさなど，今後の学びの支えとなる多様な力や心の獲得につながると思います。

表彰式の後には，子どもたちに科学の話をしました。左はプラパイプにてんとう虫のイラストがくっついている写真です。パイプ上部についているてんとう虫は，パイプの中に水を入れてひっくり返すと，上に上がっていきます。なぜ，てんとう虫は上がっていくのでしょうか。子どもたちに問いました。「水蒸気が働いている。」，「磁石を使っている。」「磁石の引き合ったり，退け合ったりする性質を利用している。」という意見が出ました。それが「描き」です。学びはこの「描き」からはじまることを子どもたちに話しました。子どもの言うとおり磁石の性質を利用しています。ただ，水を入れると，なぜ磁石の性質が働くのか，水がどんな働きをしているのかについて説明できる子どもはいませんでした。こうしたしかけは，子どもたちの主体性を引き出す一つのきっかけになると思います。

固体は，外部からの影響を受けない限り，重力によって下へ落ちていきます。これは自然の摂理です。固体が上に上がる場合は，外部からの影響（気流や動力など）を受けた場合です。例えば，風船や熱気球，飛行機，エレベーターなどなどです。てんとう虫のイラストが上に上がるということは，何かしら外部からの影響を受けているということです。実はこの現象，４年生以上なら解明できる謎です。理科で学習したことを活用し，思考すれば解明できます。



休み時間に、校長室で、謎を解明している子どもたち

「なぜ？」，「解決したい。」，「こうなっているかな？」と「描き」，試行錯誤しながら「考えきり」，一つの結論を，根拠をもとに「創り出して」いくことが探究であり，求めている学びのプロセスです。

弥栄産業祭



１１月３日（火），弥栄産業祭が行われました。この中のアトラクションとして，弥栄小学校の子どもたちは「大蛇」を披露しました。この日に向けて，子どもたちは，平田お師匠さん・美浦お師匠さんのご指導のもと，**「本気」**で練習を繰り返してきました。取組を通して，「弥栄への愛着や理解」を深め，「弥栄の文化を大事にしていきたい。」という気持ちも養われていったと思います。

また，「こんな大蛇を舞いたい。」，「そのためにこんな練習をしていこう。」，「そして，弥栄の文化をたくさんの人に知ってもらうんだ。」と**「描き」**，その描きを**「やりきり」，「創り出す」**姿がとてもうれしかったです。特に，今年度が最後になる６年生からは，より高い志を感じました。こうしてふるさとの伝統文化は継承されていくのだと思います。

弥栄小文化祭



１１月７日（土），弥栄小文化祭を行いました。これまでの学習の成果を見ていただきました。この日，多くの保護者・地域の方にご来校いただきました。誠にありがとうございました。皆様に見守られながら，子どもたちは自信をもって，うれしさいっぱいで発表することができたと思います。１・２年生は「音楽発表」，３・４年生は神楽「塩祓い」，５・６年生は神楽「大蛇」を発表しました。



一回練習するごとに，***次の取組を本気で描き，学級・学校のみんなで本気でやりきり，創り出してきました。***子どもたちは，発表を通して多くのことを伝えていました。それは，学習内容だけでなく，**「やる気」，「一生懸命さ」，「楽しさ」，「うれしさ」，「自信」**です。これまで，貴重な学びができたことの表れだと思います。



保護者・地域の皆様，ご来校いただきありがとうございました。

連合音楽祭



１１月５日（木），連合音楽祭がありました。弥栄小学校は，３・４・５年生が神楽「しおはらい」を披露しました。今学期は**「本気」**で取り組んでいこうと話をしています。連合音楽祭に向けた取組の中でも，**「本気を伝えたい。」という子どもの思いが伝わってきました。**こうした取組の中で，力や心は磨かれます。とてもうれしい姿でした。斎藤お師匠さんとやってきた水曜日の練習や昼休みを使った自主練習を繰り返し，子どもたちは「本気」の気持ちを高め，立派に発表しました。弥栄の伝統が伝わる発表でした。

私を含め，人ができないことができる弥栄の子どもたちはすばらしいです。全教職員，そして，子どもたちが，**「本気」という言葉と「描きからみんなで創り出す」ことを大事**に指導したり，学んだりしていることに心打たれました。「ありがとう。」という気持ちでいっぱいです。